



青森県感染症発生情報
(2026年第22週)

I 第22週の発生動向 (2026/5/25~2026/5/31)

1. 警報・注意報は発令されていません。
2. 日頃から手洗いや咳エチケット等の基本的な感染対策をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「日本紅斑熱」です。
最終ページに掲載しています。

II 第22週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

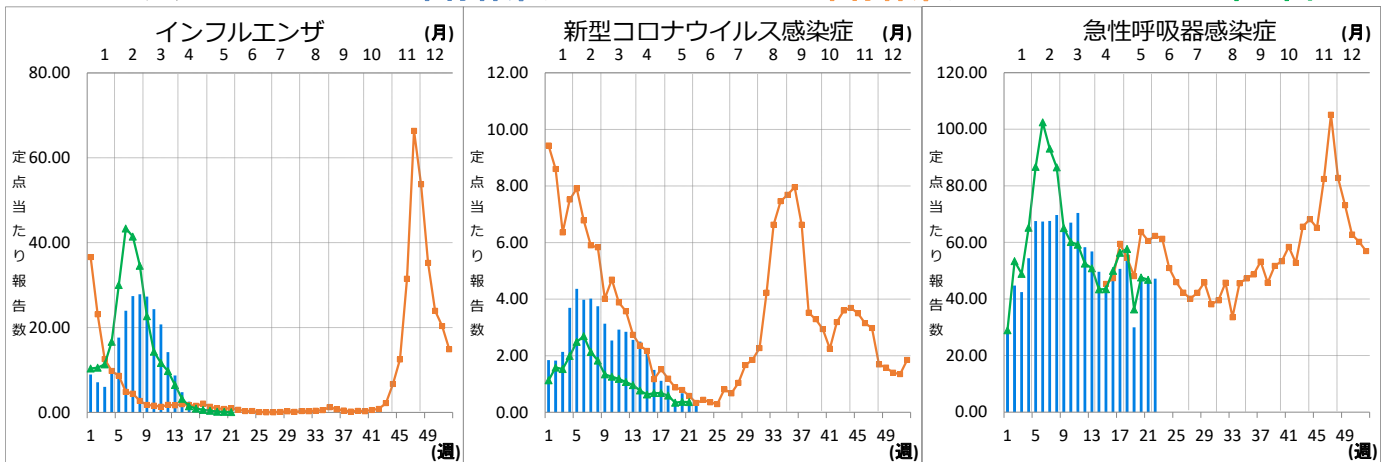
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

	東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減 数	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	1	0.09								1	0.17	2	0.04	-2	
	新型コロナウイルス感染症	1	0.09			7	0.70	3	0.50	1	0.11	1	0.17	13	0.25	-3
	急性呼吸器感染症	724	65.82	302	30.20	430	43.00	276	46.00	319	35.44	403	67.17	2454	47.19	69
小児科	R Sウイルス感染症	5	0.83	1	0.17	2	0.29			2	0.33			10	0.29	5
	咽頭結膜熱	3	0.50	1	0.17	3	0.43			5	0.83			12	0.35	9
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	1.83	12	2.00	9	1.29	4	0.80	16	2.67	3	0.75	55	1.62	-2
	感染性胃腸炎	20	3.33	21	3.50	24	3.43	33	6.60			1	0.25	99	2.91	-7
	水痘	1	0.17	3	0.50	5	0.71			4	0.67			13	0.38	3
	手足口病	1	0.17	1	0.17	14	2.00			2	0.33			18	0.53	10
	伝染性紅斑							1	0.20					1	0.03	1
	突発性発しん	3	0.50			4	0.57	2	0.40					9	0.26	1
	ヘルパンギーナ															0
	流行性耳下腺炎	1	0.17											1	0.03	0
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															0
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)								2	2.00				2	0.33	2
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎										2	2.00		2	0.33	-1
	無菌性髄膜炎															0

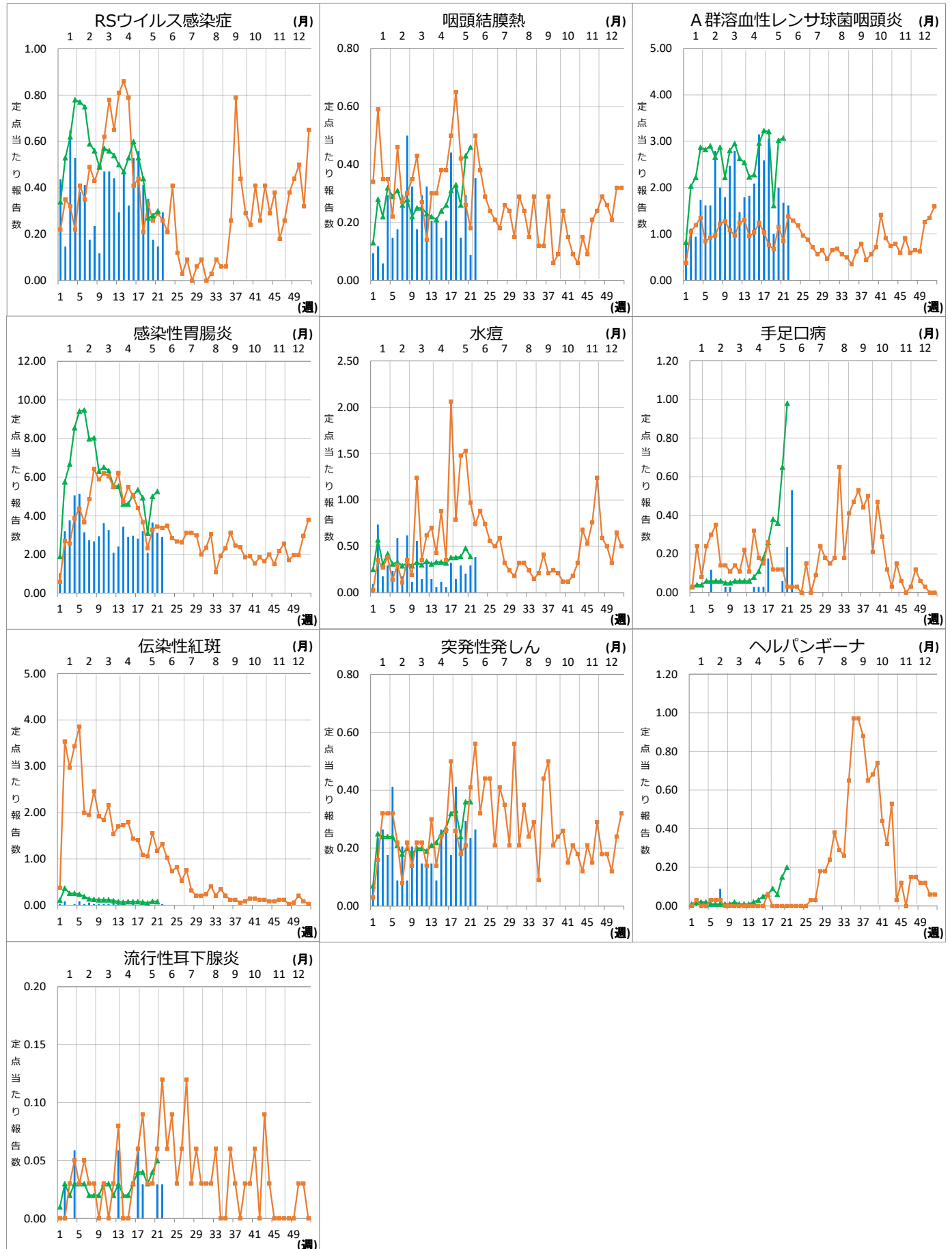
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2026年第22週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ← は2026年青森県、■は2025年青森県、▲は2026年全国



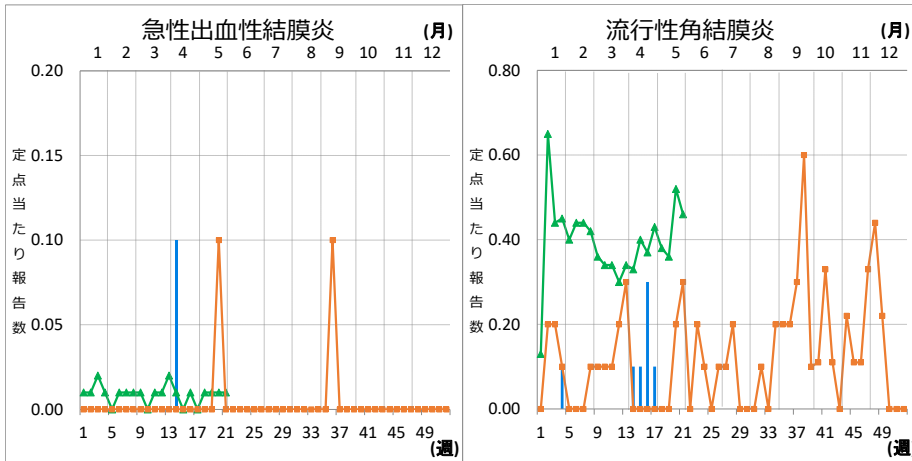
IV 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2026年第22週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2026年青森県、 は2025年青森県、 は2026年全国



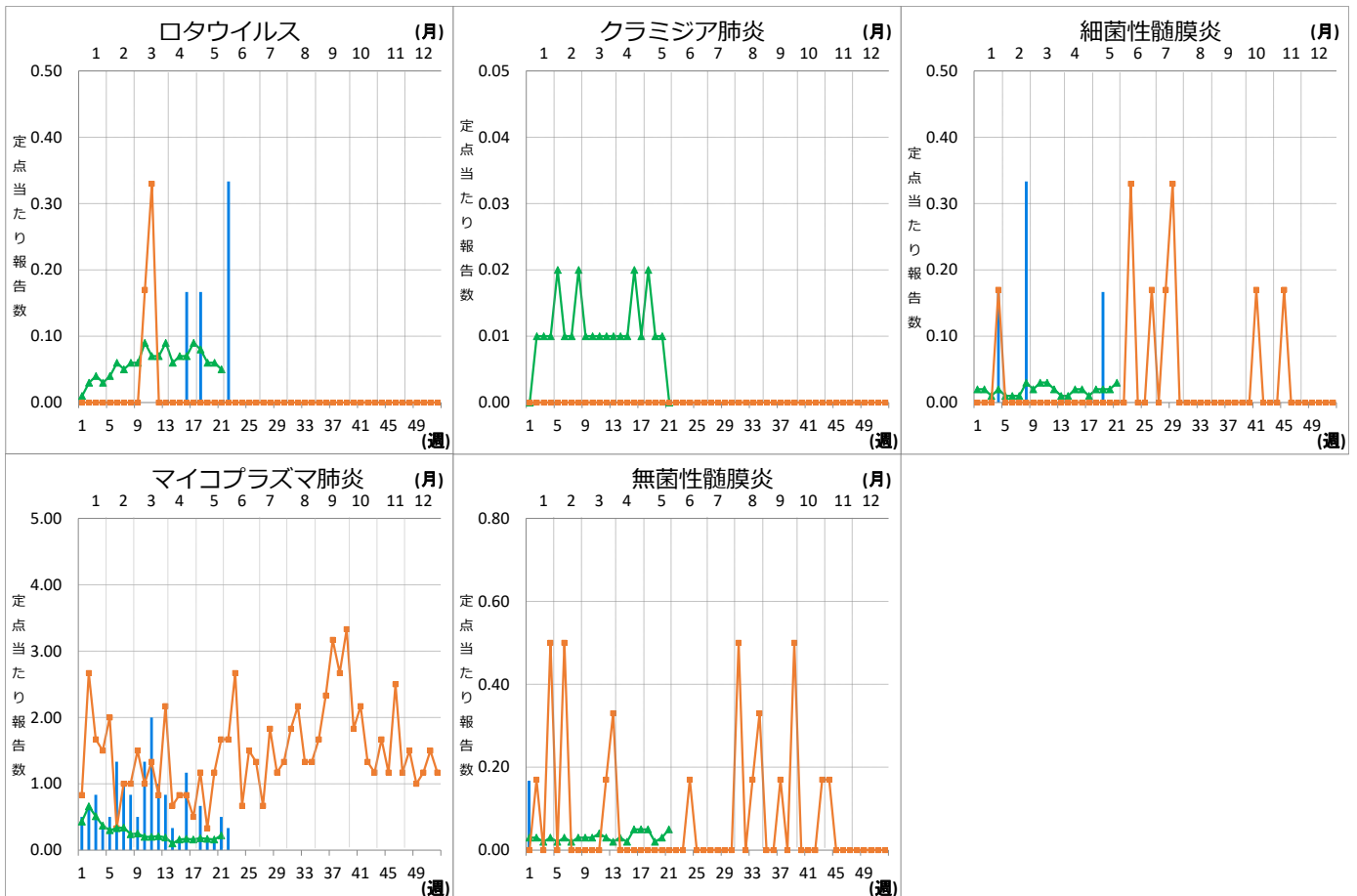
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2026年第22週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ← は2026年青森県、■—■は2025年青森県、▲—▲は2026年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2026年第22週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ← は2026年青森県、■—■は2025年青森県、▲—▲は2026年全国



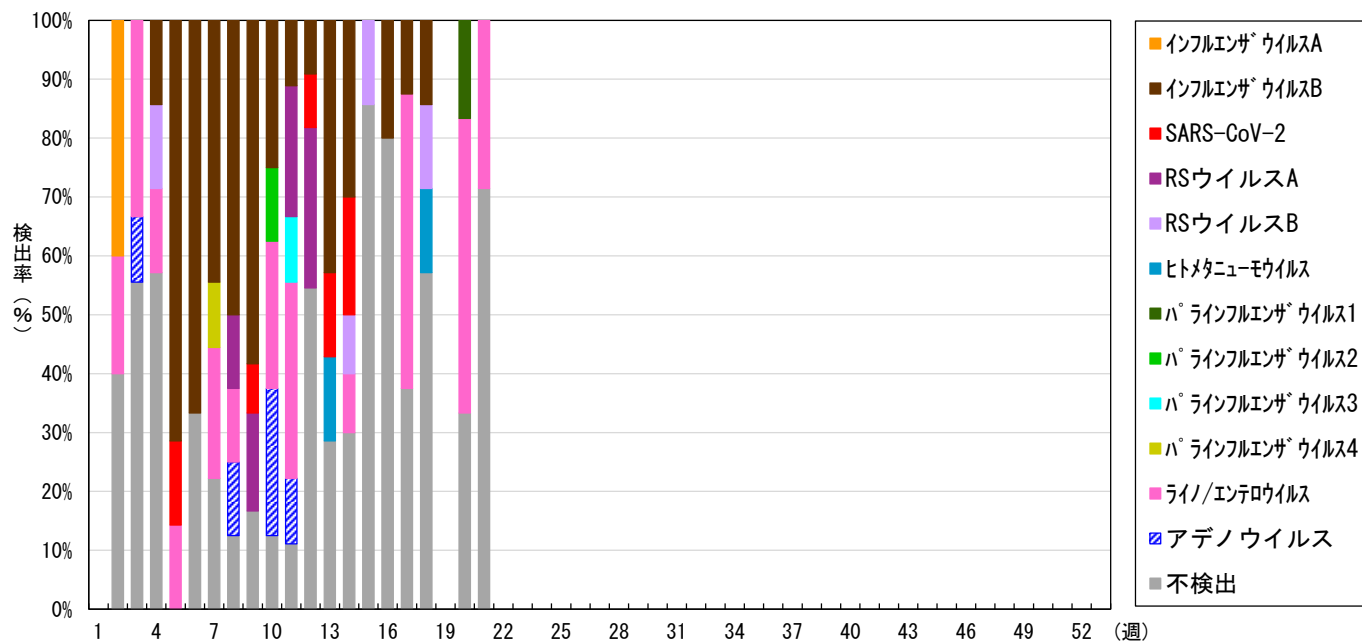
Ⅶ 急性呼吸器感染症(ARI)病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2026年第15週～22週)

急性呼吸器感染症	2026年							
	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週
提出検体数	7	5	7	7	0	6	7	6
インフルエンザウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	0
インフルエンザウイルスB	0	1	1	1	0	0	0	0
SARS-CoV-2	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルスB	1	0	0	1	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	1	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	1	0	0
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス3	0	0	0	0	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0	0	0	0	0	0
ライノ/エンテロウイルス	0	0	4	0	0	3	2	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0
不検出	6	4	3	4	0	2	5	0
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	6

※第17週に提出された検体のうち、インフルエンザウイルスB及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2026年第1週～21週)



Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（第 22 週）

- ・細菌性赤痢（三類感染症）：八戸市 1 人 (2026 年計： 2 人)
- ・つつが虫病（四類感染症）：下北 1 人 (2026 年計： 1 人)
- ・レジオネラ症（四類感染症）：中南 1 人 (2026 年計： 1 人)
- ・侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）：青森市 1 人 (2026 年計： 9 人)
- ・梅毒（五類感染症）：青森市 1 人 (2026 年計： 7 人)

Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2026 年第 19 週～2026 年第 22 週）

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
19					結核1人	
20	結核3人	カルバペネム耐性腸 内細菌目細菌感染症 1人	結核1人	結核1人	結核2人	
21			細菌性赤痢1人		カルバペネム耐性腸 内細菌目細菌感染症 1人	
22	侵襲性肺炎球菌感染 症1人 梅毒1人	レジオネラ症1人	細菌性赤痢1人			つつが虫病1人

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2026年第1週～第21週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムポックス	オウム病
累積報告数	5529	35	827	15	5	263	98	6	61	1
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症
累積報告数	3	62	1	49	33	88	2	15	698	4
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症
累積報告数	190	75	389	8	187	4	63	590	354	15
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	多剤耐性緑膿菌感染症	梅毒	播種性クリプトкокクス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	236	29	1361	325	52	4341	72	39	40	2988
分類	五類	五類	五類							
疾病名	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症							
累積報告数	2	511	6							

青森県（2026年第1週～第22週までの累計）

分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	35	2	7	3	1	1	1	2	2	6
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類				
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	百日咳				
累積報告数	1	4	9	6	7	18				

XI 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅷ 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2026年第22週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第22週	報告なし		

2026年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月				6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (施設別)
		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18週	19週	20週	21週	22週	23-26週	27-31週	32-35週	36-39週	40-44週	45-48週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	2	6	2	1	2	0	0	0							15
	発症者数	37	44	69	23	13	29	0	0	0							215
児童・婦人関係施設等	件数	4	0	1	3	1	1	0	1	0							11
	発症者数	92	0	30	73	13	11	0	20	0							239
障がい関係施設	件数	1	0	1	0	0	0	0	0	0							2
	発症者数	20	0	18	0	0	0	0	0	0							38
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0
計(月別)	件数	7	2	8	5	6											28
	発症者数	149	44	117	96	86											492

感染症の窓

日本紅斑熱

日本紅斑熱は、日本紅斑熱リケッチアによって引き起こされる感染症で、主に病原体を保有するマダニに刺されることで感染します。マダニの活動が活発になる4月から11月に多く発生がみられています。

潜伏期間は2～8日で、頭痛や全身倦怠感、高熱などの症状が現れます。高熱とほぼ同時に、手足から体幹にかけて紅色の発疹（斑丘疹）が広がるのが特徴です。

発熱、発疹、刺し口の主要三徴候は、本県でも毎年報告があるつつが虫病と似ており、臨床的に鑑別するのは困難です。

全国の報告数は増加傾向にあり、2025年には初めて600人を超えました。かつては主に関東以西で発生していましたが、現在は東南北部まで感染地域が広がっていると考えられています。

病原体を持つマダニに刺されることで感染するため、農作業などでマダニの発生しやすい場所に入る際は、以下の対策を心がけましょう。

1. 長袖・長ズボンを着用し、肌の露出を極力避ける。
2. ダニ忌避剤を使用する。
3. 作業後は早めに入浴し、体にダニが付いていないか確認する。

マダニに刺された際は、医療機関で処置してもらいましょう。また、数週間程度は体調の変化に留意し、発熱等の症状が出たら医療機関で（ダニに刺されたことを述べて）診察を受けてください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。📄 [日本紅斑熱\(厚生労働省 HP\)](#)

